

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

パーパス

おいしい！の笑顔をつくる

売上高
550億円営業利益
33億円売上高営業利益率
6.0%海外事業売上高比率
8.8%

② 中長期の経営戦略

1. あずきバーと冷菓事業強化

過去最高の売上本数を記録したあずきバーシリーズの強化と、本社敷地内の新工場建設により生産性向上と付加価値商品開発に注力

2. 冷凍和菓子の市場拡大

独自の冷凍技術を活かした井村屋謹製たい焼きを育成カテゴリーとして、市場拡大を目指す

3. 業務用市場の開拓

新規販売ルート開拓を柱として、業務用市場での販売ルート拡大と新しい売場の創造に取り組む

4. 大阪・関西万博活動

2025年大阪・関西万博を活用し、オリジナル・万博記念デザイン商品の発売でグローバルな認知度向上に注力

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ 米国の関税政策による世界経済への影響
- ・ 消費者の節約志向と原材料価格・エネルギー価格上昇への対応

② サステナビリティ対応

- ・ 2026年度に温室効果ガス排出を2023年度比30%削減（原単位）
- ・ 2026年度に国内事業廃棄物量を2023年度比30%削減（原単位）
- ・ 2025年3月竣工のアップサイクルセンターを稼働しゼロエミッション推進

③ 人材と組織

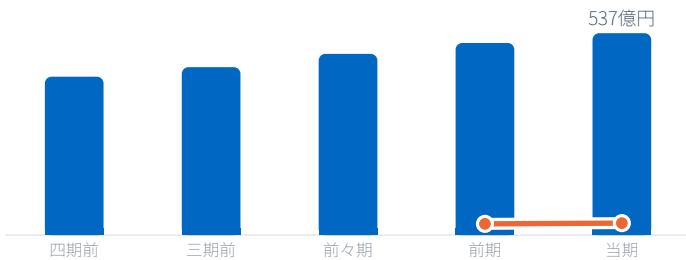
- ・ 女性管理職比率を30%以上に向上させる

面接で使えるポイント

- ・ 中期経営計画『Value Innovation 2026』のもと…
- ・ あずきバーの過去最高売上や井村屋謹製たい焼きなど、独自技術と商品開発力で市場を創造する企業
- ・ マレーシア・米国・中国での海外展開を推進し、海外事業売上高比率8.8%の実現を目指す成長企業

証券コード 2209

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
537億円営業利益率
6.0%財務健康度
51点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 49.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
641万円

食料品内 62位/120社

平均年齢
38.5歳

食料品内 109位/121社

平均勤続
13.8年

食料品内 75位/121社

女性管理職
25.0%

食料品内 9位/106社

男性育休
100.0%

食料品内 15位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: 井村屋グループ(株)【2209】：決算情報

